

サッポロインターナショナル（株）が、豊田通商グループとともに 米国の果汁 100%シャーベット事業を取得

～米国農務省の栄養摂取基準に沿った学校給食向け商品ラインを拡充～

サッポログループのサッポロインターナショナル（株）と豊田通商グループの豊田通商アメリカ（Toyota Tsusho America Inc. 以下、TAI）は、両社が共同出資する米国果汁飲料メーカーのカントリーピュアフーズ社（以下、CPF）を介し、米国業務用シャーベット製造会社であるリッジフィールド・ブランド・コーポレーション社（Ridgefield's Brand Corporation, Inc. 以下、RBC）のシャーベット事業を取得することを決定しました。

サッポログループは、国際事業の持続的成長に向けた戦略的な投資を行い、今後も北米飲料事業の拡大を目指していきます。

記

1. 契約について

サッポロインターナショナル傘下の CPF は、RBC のシャーベット事業に対する事業売買契約を 2016 年 5 月 27 日（日本時間）に RBC と締結しました。投資金額は約 15 億円で、投資比率はサッポロインターナショナルが 51%、TAI が 49%となります。

2. 契約を締結した理由

サッポログループは 2015 年 2 月に「サッポログループ経営計画 2015 年－2016 年」を策定し、「食のメーカー」として成長戦略を加速させ、グループシナジーの創出と M&A の実現により本年の財務目標達成に向けて取り組みを進めています。

その中でサッポロインターナショナルは、基盤である北米と成長著しいアジアをビール事業の最重点エリアに位置づけるとともに、2012 年にはシルバー・スプリングス・シトラス社（Silver Springs Citrus, Inc. 以下、SSC）、2015 年には CPF を買収することにより、北米飲料事業でノウハウや知見を蓄積してきました。

今回事業を取得する RBC は、主に米国内の学校給食向けのシャーベット商品を強みとして、現在全米 28 州に供給を行っています。米国農務省（USDA）は、学校給食を通して生徒が摂取すべき果実および野菜の基準量を定めており、それらの摂取基準の半量まではジュースや果汁 100%シャーベットによる提供が可能としています。RBC は、独自のノウハウにより、アイスクリームのような滑らかな食感を実現した商品を投入して生徒の支持を獲得し、売上高は昨年までの 4 年間で約 2 倍の急成長を遂げています。今般、RBC のノウハウと商圏獲得を目的に同社の事業を取得し、CPF が主力事業の一つとする教育機関向けビジネスとのシナジー最大化を図ることで、学校給食市場でのシェア拡大を目指します。

（次ページもご覧ください）

3. RBC について

社名	The Ridgefield' s Brand Corporation, Inc. リッジフィールズ・ブランド・コーポレーション
所在地	米国 メリーランド州 モンゴメリー
事業内容	業務用 果汁 100%シャーベットの販売（学校給食や病院のカフェテリア中心）
生産拠点	無し 全て委託製造
経營業績	売上高 約 14 億円（2015 年 12 月期 ）（注 1）
創業	1993 年
代表者	Thomas G Kaplan / トーマス G カプラン

（注 1） 1 ドル＝109.83 円で換算（2016 年 5 月 27 日現在）

以上